

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
建築一般構造 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	長島茂			実務 経験	有	職種	建設業にて設計・施工管理業務に従事				
授業概要											
木材の特徴や性質、木造建築物の特徴や分類・構造・材料等を学ぶ。											
到達目標											
次の3点を到達目標とする。①木材の性質や特徴について習得する。②軸組構法について理解し、習得する。③枠組壁構法について理解し、習得する。											
授業方法											
教科書を中心に行うが、二級建築士の国家試験や、建築確認申請時に必要となる分野についても、補助プリント等を配布して行う。											
成績評価方法											
期末試験・出席状況・授業態度などを総合的に判断する。											
履修上の注意											
建築に関する専門用語が毎回多数出てくるが、できるだけ授業中に覚えること。欠席や遅刻は、その部分の学習が抜けてしまうため、その後の学習に悪影響を及ぼす場合がある。											
教科書教材											
初めての建築一般構造(学芸出版社)、コンパクト建築設計資料集成(丸善)											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション建築構法の変遷について概略を学習する。										
第2回	建築構造の分類・構造材料による分類・建築上の留意点について学習する。										
第3回	木工造の特徴と構造形式について学習する。										

建築学科

建築一般構造 1

第4回	木材・木質材料の特徴や性質について学習する。
第5回	軸組構法の構成と木材の接合について学習する。
第6回	木造建築物の基礎の構造、土工事について学習する。
第7回	壁・柱などの垂直部材の構造について学習する。
第8回	筋かい・胴差し・火打ちなど斜材・水平材について学習する。
第9回	小屋組の種類・特徴・構造について学習する。
第10回	束の有無による床構造について学習する。
第11回	地震力、風圧力に対する必要壁量の検討を演習として行う。
第12回	枠組壁構法の構成と特徴について学習する。
第13回	枠組壁構法で使用する木材の規格、接合について学習する。
第14回	枠組壁構法の壁量の検討を行う。
第15回	構造用大断面集成材を用いた構造の概要について学習する。